

한통련 뉴스레터

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284 メール chuo@korea-htr.org

7・27大阪集会を開催



リモートで報告する韓忠穆常任代表

朝鮮戦争休戦協定締結から68周年を迎え、日韓平和連帯の主催で「朝鮮戦争・休戦協定68周年 シンガポール共同声明と板門店宣言の履行による東アジアの恒久平和をめざす7・27大阪集会」が7月27日、エルおおさかで開かれた。

集会では、日韓平和連帯の山元一英共同代表が主催者挨拶を行った後、「朝鮮半島をめぐる情勢と私たちの取り組むべき視点」をテーマに、フォーラム平和・人権・環境の藤本泰成共同代表が報告した。

藤本代表は「朝鮮戦争以降、米国は対朝鮮敵視政策をとり続け、現在も継続されている。停戦協定を平和協定に変更するためには制裁の解除など、具体的な敵視政策を是正しなければならない」と語るとともに、「日本政府は在日朝鮮人への差別を率先して行っている。そうした状況で朝鮮との信頼関係が深まるのか。私たちに必要なのは在日朝鮮人への差別を排除し、歴史事実にしっかり向き合うこと。そのことを基本に市民連帯を強化しよう」と訴えた。

続いて韓国から韓国進歩連帯の韓忠穆常任代表が「朝鮮半島の平和と非核化、東アジアの恒久平和の実現」をテーマにリモートで報告。韓代表は初めに、1年以上断絶された南北通信連絡線が復旧したことにつ



報告する藤本共同代表

いて「南北両首脳の合意で通信線が再開されたことは、南北の和解と協力に向けた前進だ」と語った。また「朝米の敵対関係を清算するためには、米国が朝鮮と信頼関係を構築しなければならない。そうでなければ平和協定締結も非核化も実現できない」と述べた。そして「私たちは8月15日(光復節)を契機に反米自主、朝鮮半島の平和統一の実現に向けた一大闘争を始める」とし、「日本からも支持・連帯の声をあげてほしい」と訴えた。

報告後は質疑応答が行われ、最後に日韓平和連帯の垣沼陽輔事務局長が閉会挨拶した。



参加者でプラカード・アピール

情勢コラム

南北の通信連絡線復旧！ 信頼回復と関係進展のためにも韓米合同軍事演習を中止せよ！



6月15日に宗教団体と各界の市民社会団体、83団体で発足した「光復節76周年朝鮮半島自主平和統一のための8・15大会推進委員会(8・15推進委)」は7月26日、ソウル市内の韓国キリスト教会館で、「韓米合同軍事演習の中止を求める記者会見」を開催。記者会見文を通じて、同演習の中止を求め、文在寅大統領との面談を要請すると明らかにした(写真)。

6・15共同宣言実践南側委員会の李昌馥常任代表議長はあいさつを通じて、「相手側に対する尊重と関係改善の意志を行動で示さなければ、一歩も進むことができない」とし、「韓米合同軍事演習を中止して対話の扉を開き、南北関係を新しく発展させなければならない」と力説した。

8・15推進委はこの間、内外で韓米合同軍事演習の中止を求める1万人宣言と10万人行動を展開している。また文大統領との面談については「事前に接触し、代表らが努力を尽くしている」と説明した。翌27日には13カ月ぶりに南北の通信連絡線が復旧した。南北両首脳はこの間、親書を通じて、まず通信線を復旧させることで合意し、さらに「南北間で一日も早く相互信頼を回復し、関係を再び進展させる」ことで一致したという。南北の信頼回復と関係進展のためにも、韓米合同軍事演習の中止が切実に求められている。

国家保安法廃止！ 民主人士への弾圧を中止し良心囚を即時釈放せよ！

忠清北道・清州地域の活動家が5月27日、国家情報院(国情院)と警察庁安保捜査局により、国家保安法上の「会合・通信」違反容疑で自宅や事務所の家宅捜査を受けた。警察庁安保捜査局(警察庁に新設された国家捜査本部の傘下機構)は、スパイ活動などの捜査を行う「対共捜査権」が、改正国情院法に基づき2024年1月に国情院から警察に移管されることに伴い、事前に設置されたもの。

捜査を受けたのは、忠北青年新聞代表理事のソン・ジョンピョ氏、韓国タイヤ解雇労働者のユン・テヨン氏、同パク・ウンヨン氏と夫人のパク・ソンシル氏の4人。北からの指令で韓国軍の米国製ステルス戦闘機「F35A」導入に反対する街頭署名活動とリレー形式の1人デモを行った疑いがあるとした。

清州にはF35Aを運用する空軍基地がある。清州地裁は7月29日に逮捕状発付の是非を判断する令状審査を行う予定だったが、延期した。活動家側が新たな弁護人を選任する必要があるとして、延期を申し立てたためとされる。

5月、同法違反容疑による民主人士への捜査が集中発生した。既得権益の喪失による地位低下と国家保安法の改廃を求める運動の進展に危機感を持った積弊・安保情報勢力の「抵抗」である。南北の通信連絡線の復旧により、南北関係が進展する中で、北を「敵」とし統一を弾圧する国家保安法の廃止は当然である。あわせて、民主人士への弾圧を中止し良心囚を即時釈放することを強く求める。

南北通信線復旧歓迎・韓米合同軍事演習中止を求めるプラカード・アピールにご協力ください



南北通信線の復旧を歓迎するとともに、韓米合同軍事演習の中止を要求するプラカード(写真)を新たに作成しました。(プラカードのデータは下記のメールにご請求ください)

プラカードに名前・団体などを記入の上、下記のアドレスまでメールで送信してください。写真は韓国の運動団体に送ります。

chuo@korea-htr.org

次号⇒米大使館抗議行動、8・6ヒロシマ平和へのつどい、「私はチョンソラムです」名古屋上映会、情勢コラムなど掲載予定です。